

新人さんにも伝えたい。 精神科看護に必要な倫理的な視点

ちょっとみんなで エシカらない？ (ethical : 倫理)

吉井ひろ子

兵庫医科大学病院 看護部
(リエゾン精神看護専門看護師)

杉原正美

社会医療法人北斗会
ほくとクリニック病院
(精神科認定看護師：
うつ病看護領域)

浮舟裕介

大阪府立大学看護学類
精神看護学分野 助教
(元医療法人稲門会いわくら病院)

田邊友也

医療法人阪和錦秀会
阪和いずみ病院
(精神科認定看護師：
精神科薬物看護領域)

春に入職した新人さんは、ちょうど数か月が経つ頃ですね。職場には少し慣れてこられた頃でしょうか。

この特集では、精神科看護での倫理的視点について一緒に考えていきたいと思います。

新人の時ほど、職場で患者さんに対して行われていることに「え？ これでいいの？」と思うような瞬間があると思います。しかし時間が経つほど、そうした違和感に目をつぶり、「こういうものなのかも……」と流されていってしまうかもしれません。

でもそんな時こそ、違和感を大事にして立ち止まってみてください。

というのも、先輩である私たちも、例えば行動制限の場面で「このままでいいのだろうか」と違和感を持ちながらも、病棟ルールを目の前にそれをうまく解決できず、ジレンマのなかで苦しむこともあるからです。

そうしたジレンマを考えるため、私たちは2014年の日本精神科看護協会(日精看)専門学会Iにおいて、「ケアの質を高めるための意見交換会——精神科看護倫理の視点から」という企画セミナーを行いました。

「ちょっと、みんなでエシカ (ethical) らない？」をスローガンに、それぞれの所属先での倫理的問題はどのような場面で起こっているのか、その場面に対しどのような対応をしているのかについて話題提供し、会場に集まった方たちと意見交換をしました。この特集ではその内容を紹介し、会場の皆さんも含めた私たち先輩が大事にしたいと思っている倫理的視点についてお伝えしたいと思います。